

もも・ネクタリン情報



H28. 11. 18

J A 中野市営農センター

J A 中野市りんご・もも部会

1. 防寒・凍害対策

若木（7年生程度まで）は、必ず防寒対策（ワラ巻き）を実施しましょう

- ①ワラ巻き・・・ 巻く範囲は、地際部から地上80cm程度までの主幹部。**厚さは5cm以上**で巻きましょう
◎ワラ被覆時期：11月下旬～12月上旬 ワラ除去：3月下旬～4月

- ②塗布剤(フジホワイト)・・・ 地際部から地上80cm程度までの主幹部にハケ等で塗布する。

◎塗布時期：根雪前(乾きやすい天気の良い日に塗布しましょう)

主幹部に塗布剤を塗布し、さらにワラ巻きを行なうと効果的です。



2. 野鼠対策

- 1) 根元の草はきれいに取り除く。また、園の周囲も除草する。
2) 密度を減らす。パチンコ、一斉駆除やヤソジオン、ラテミンリン化亜鉛などにて複合的に。
*毒餌は所定量を鼠穴へ投与し、鼠が集まりやすいよう、箱、タイヤ、ワラ等で囲った中に毒餌を入れておく。穴への投与は棒等で押し込み、穴を壊さないようにする。

3. 雪害防止

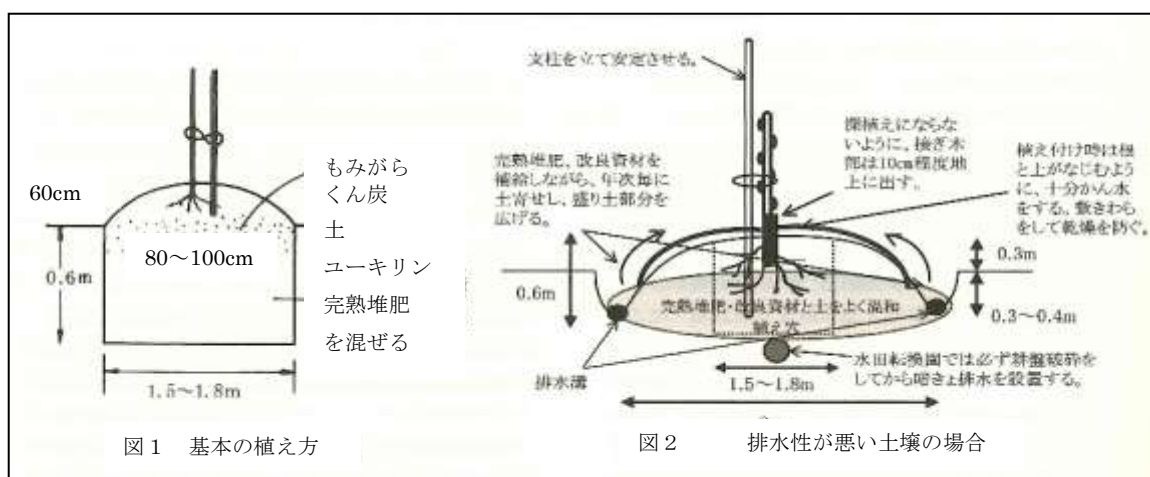
積雪により枝折れ等が心配される園地では、あらかじめ添え支柱などを行ない、主幹・主枝を補強しておきましょう。

4. 苗木の植付け方法とポイント・・・果樹苗木をご注文いただいた皆様へ

写真：ワラは5cm以上の厚さで巻く

苗木の配達が始まりますので、圃場の準備をお願いします。

- ① 植え穴は苗木の根の2倍の大きさで、直径80～100cm、深さ50cm位掘り、土とユーキリン(1kg)、もみがらくん炭(適量)、エアープォイント(完熟堆肥)を混ぜて埋め戻す。
* ユーキリン(20kg：3,809円)、もみがらくん炭(300：496円)、エアープォイント(18kg：529円)は、営農センター取扱い。
* 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する。
* 配達された苗木は乾燥気味のため、12時間(1晩)程度、根部を水に浸して十分に吸水させてから定植する。
* すぐに定植できない場合は、吸水させてから仮植しておく。
② 植え付け時は、根を放射状に広げ、各々の根に細土が密着するように丁寧に土をかける。太根の先端を剪定鋏で切っておくと、発根が良くなる。土をかけた後、苗木を軽く持ち上げるようにしながら足で軽く踏みつけて、たっぷりかん水を行なう。
③ 植え付けの深さは、接ぎ木部位が地面からわずかに出る程度とする。
④ 苗木は支柱を添えて固定し、揺れを防ぐ。
⑤ 苗木の剪定(切り戻し)は、春季(3月下旬～4月上旬)に行ない、地上部30～50cmの高さで充実した芽の上で切り戻す。



秋植えの場合

- ① 越冬対策は必ず実施する。
② 秋植えを行なう場合は、土壌と根の活着が良く春季の生育が良好となるが、凍害・雪害等の心配があるため、定植後は必ず防寒対策・冬囲い（ワラ巻き**厚さ5cm以上**等）を実施する。

春植えの場合

- ① 春植えの場合は、伏せ込みを行なう。
② 束ねてある苗木は必ずバラして、根部を土中の凍結部以下になるようにして伏せ、苗木の下部70cm位を土中に埋める。
③ 乾燥防止のため、細根部分は隙間がないよう丁寧に土をかぶせる。
④ 春植えの場合は特に土壌が乾燥しやすいので、雪が消えたら土壌が乾燥しないよう、植え穴に水をたっぷり入れて植付ける。